

東労組へ悲痛の聲が数多く届いています！

第1回交渉での会社回答が21春闘と同じことについて

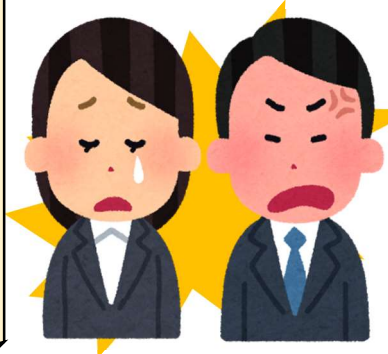
- ・若手社員への転職を促すメッセージだと思う。
- ・ベア無し定昇カット、新しい仕事はするでは、企業として悪い方向に向かう気がする。
- ・経営側は、こんな状況で賃上げ出来る訳ないだろうというスタンスを一貫しており、成果（コストダウン等）にはあまり目が向いていないと感じる。
- ・昨今暴力や傷害事件も増えており、命を削って職務に当たっていることにもう少し目を向けて欲しい。
- ・会社がその姿勢であるなら、社員のモチベーションは上がらない。
- ・社員が何を頑張ろうと、会社側に賃上げや報酬を出す気がないことがハッキリした。出さない理由ばかり列挙して、こうなったら出すという話が一切ない。

「生活実感」について

- ・年収10%減には納得できない。
- ・ボーナス有りきの安月給なのに、ボーナスもろくにもらえずツライ。
- ・物価は上がって給与は中々上がらず、どんどん生活が厳しくなっている。
- ・会社側は寮や社宅からの退去を促し、持ち家を促しているが、現状ではどうやって家建てろというのか。
- ・結婚したばかりで今後お金が必要になってくる場面もあるため、不安を感じている。
- ・支出は増えて収入は減っているので良い状況には決して向かっていない。
- ・食料品の価格が上がり、出費は増えている。

「第二基本給」について

- ・理解していない社員が多いので、説明が必要。
- ・今すぐ廃止するべきもの。
- ・会社にとって都合が良い制度であると感している。
- ・国鉄採用の社員が少なくなる今、必要がない制度。作った基本理由をもう一度考えて欲しい



「労働実感」について

- ・今後の営業統括センターなどを考えると、安全が守れるか疑問ではある。
- ・電子化の推進で余計な業務が増えた。現時点では生産性の向上は実感出来ていない。
- ・まったくもって理解の及ばない施策や改革ばかりで、会社に対する信頼は、もはやない。

「モチベーション」について

- ・この会社での働きがいは皆無。モチベーションを下げる天才。もはやかつての人気企業の影はない。
- ・何をモチベーションにしたらいいのかわからない。
- ・給与が十分ではないため、働きがい無し。
- ・私はポテ採だが、年代を問わず多くのポテ採社員が転職しているという実感がある。定期昇給2に対する不満も聞いている。
- ・業務の大変さと給料が反比例するのは納得できない。
- ・仕事は増えて、賃金が減っている今の状況で、モチベーションは非常に低い。
- ・人材にもっとお金をかけるべき。
- ・給与を減らしてボーナスも出ないのでは、モチベーションは上がらない。だから人材流出が止まらない。

「定期昇給」昇給係数2カットについて

- ・会社経営のことしか考えていない。現場社員への感謝がない。
- ・他に削るところがあるはず。モチベーションも下がる一方で、安全をどう守れというのかわからない。
- ・経営者から若手に対しての転職を促すメッセージと受け止めている。
- ・この状況が続くようであれば、身の置く場所を考え直さなければならないと思う。
- ・定期昇給は影響が一生残る。影響は若手ほど大きく、長く勤めても良い事ないという印象が強くなった。
- ・この財政状況じゃ仕方ないと思わせている会社側の態度が気に食わない。
- ・赤字やコロナを理由にカットされるものではない。

会社はJR東日本で働く“全ての社員”の声を何故受け止めようとしらないのか！！